



（写真）Shutterstock “コロンビア・ベネズエラ政府代表 Monómeros の買収について協議”

## 2025年7月7日（月曜）

### 政治

「[マドゥロ大統領 軍設備の最新鋭化が必要](#)」

「[MCM 氏 独立記念日に軍部へ呼びかけ](#)」

### 経済

「[米国 液化ガスの取引ライセンス停止準備か  
～7月7日までに船積みした貨物のみ輸出可～](#)」

「[スペイン 2カ月連続でベネ原油の輸入ゼロ](#)」

「[CITGO 競売 PDVSA 20 債権団が申し立て準備  
～Gold Reserve の応札は債権団の合意がない～](#)」

「[コロンビア政府 Monómeros 買収の意向ある](#)」

「[光ファイバー工場の設備をイランから輸入](#)」

## 2025年7月8日（火曜）

### 政治

「[スリナム新大統領就任 マドゥロ大統領祝辞](#)」

### 経済

「[ヌエバエスパルタ州 マグネサイト開発推進](#)」

「[2024年 養殖エビ6万トンを輸出](#)」

「[玩具市場 子供の増加により堅調](#)」

「[Sambil 店舗入居費5カ月無料キャンペーン](#)」

### 社会

「[チャカオ市 犯罪発生率98%減](#)」

「[ベネズエラ リモートワーク利用企業が減少](#)」

「[ベネズエラ人空手家 南米大会で金メダル獲得](#)」

2025年7月7日（月曜）

## 政治

### 「マドゥロ大統領 軍設備の最新鋭化が必要」

7月7日 軍人士官学校の卒業式が行われ、マドゥロ大統領、フローレス大統領夫人、ウラディミール・パドリーノ・ロペス国防相らが同式典に出席した。

なお、2025年は故チャベス元大統領が軍人士官学校を卒業して50周年でもある。

マドゥロ大統領は、式典にて「他国を攻撃するためではなく、自国の平和を守るためにベネズエラ国軍の設備を最新鋭化する必要がある」と発言。

新たな武器の調達や軍事技術の導入を進める意向を示した。



（写真）大統領府

### 「MCM 氏 独立記念日に軍部へ呼びかけ」

7月5日はベネズエラの独立記念日だった（「ベネズエラ・トゥデイ No.1239」）。

同日、野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）は、自身のソーシャルメディアアカウントにてビデオメッセージを投稿。

「2024年7月28日の大統領選で国民は政権交代の意思を表明した」「軍部は国民の信託に従う必要があり、この信託に従わないのは共犯になる」と指摘。

「ベネズエラの文民・武官は、憲法で定められた規則を遵守させる義務を負っている」「不本意な現状を受け入れることなく、抵抗の意志を示さなければならない」と訴えた。

なお、MCM 氏自身は現在もどこにいるか不明であり、オンライン上で姿を見るだけになっている。



（写真）マリア・コリナ・マチャド氏 X

## 経 済

「米国 液化ガスの取引ライセンス停止準備か  
～7月7日までに船積みした貨物のみ輸出可～」

米国の「外国資産管理局（OFAC）」は、液化石油ガスの取引に関する制裁ライセンス No.40 を更新した。

液化石油ガスは、基本的に家庭用ガスで、プロパンガスを意味している。

これまで同ライセンスの更新は1年毎だったが、今回の制裁ライセンスの更新期限は、2025年9月5日までと2カ月間のみ。

更に「2025年7月7日以前に船積みを行った場合に限り、ベネズエラへ輸出することが可能」としており、実質的に制裁ライセンス No.40 の失効を意味している。

仮に同ライセンスが失効した場合、ベネズエラ国民の生活は大きく悪化する恐れがある。

ベネズエラは、国内の液化石油ガスの生産が減っており、慢性的に外国から液化石油ガスを輸入している。

以前は CITGO から輸入していたが、2019年にグアイド暫定政権（当時）が CITGO のコントロールを得たことで、CITGO からの液化石油ガスの供給が停止。

2019年から CITGO に代わって、ロシアの Rosneft が液化石油ガスを供給していた。

しかし、2020年にトランプ政権（1期目）が圧力を強化。ベネズエラと取引を行ったことで Rosneft（正確には Rosneft Tradings）に制裁を科し、Rosneft はベネズエラへの液化石油ガスの供給を停止した。

その後、ベネズエラ国内で深刻な液化石油ガスの不足が起き、首都のカラカスを含めて全国的に薪で火を起こすなど慢性的なガス不足に陥った。

そして、2021年にバイデン政権が発足。

ベネズエラ国民に与える影響が大きいことから2021年7月にバイデン政権は制裁ライセンス No.40 を発行。

液化石油ガスのベネズエラ向けの輸出を例外的に許可。その後、1年毎に更新が続けられていた。

制裁ライセンス No.40 が発行されてからは、液化石油ガス不足を報じる記事はほとんどなくなったが、25年9月以降は再び2020年当時のような状況に戻る可能性がある。



DEPARTMENT OF THE TREASURY  
WASHINGTON, D.C.

### OFFICE OF FOREIGN ASSETS CONTROL

Venezuela Sanctions Regulations  
31 CFR part 591

#### GENERAL LICENSE NO. 40D

#### Authorizing the Offloading of Liquefied Petroleum Gas in Venezuela

(a) Except as provided in paragraph (b) of this general license, all transactions that are ordinarily incident and necessary to the delivery and offloading of liquefied petroleum gas in Venezuela, involving the Government of Venezuela, Petróleos de Venezuela, S.A. (PdVSA), or any entity in which PdVSA owns, directly or indirectly, a 50 percent or greater interest, that are prohibited by Executive Order (E.O.) 13850 of November 1, 2018, as amended by E.O. 13857 of January 25, 2019, or E.O. 13884 of August 5, 2019, each as incorporated into the Venezuela Sanctions Regulations, 31 CFR part 591 (the VSR), are authorized through 12:01 a.m. eastern daylight time, September 5, 2025, provided the liquefied petroleum gas was loaded on a vessel on or before July 7, 2025.

(b) This general license does not authorize:

(1) Any payment-in-kind of petroleum or petroleum products; or

(2) Any transactions otherwise prohibited by the VSR, including transactions involving any blocked persons other than PdVSA, any entity in which PdVSA owns, directly or indirectly, a 50 percent or greater interest, or any Government of Venezuela person that is blocked solely pursuant to E.O. 13884.

(c) Effective July 7, 2025, General License No. 40C, dated July 8, 2024, is replaced and superseded in its entirety by this General License No. 40D.

**Note to General License No. 40D.** Nothing in this general license relieves any persons from compliance with the requirements of other Federal agencies, including the Department of Commerce's Bureau of Industry and Security.

Lisa M. Palluconi  
Acting Director  
Office of Foreign Assets Control

Dated: July 7, 2025

（写真）OFAC “制裁ライセンス No.40-D”



**「スペイン 2カ月連続でベネ原油の輸入ゼロ」**

スペインの戦略石油備蓄機関である CORES は、2025年5月のスペインによる原油輸入統計を更新。

ベネズエラからの原油輸入がゼロだったことが判明した。なお、25年4月もゼロだったので2カ月連続でベネズエラからの原油輸入量はゼロになっている。

2025年2月からトランプ政権はマドゥロ政権に対して圧力を強化。欧州でベネズエラ産原油を輸入していた「Repsol」、「Eni」、「Maurel & Prom」に対してもベネズエラとの取引を停止するよう求めている。

今回の統計はトランプ政権の圧力方針を受けたものと認識されている。

なお、2025年5月にスペインが輸入した原油・石油製品量は前年同期比19.1%減の479万トン。

スペインは14カ国から原油・石油製品を輸入しており、最大の輸入相手国はブラジルで81.5万トン（全体の17.1%）。

次いで、メキシコが56.6万トン（同11.8%）。ナイジェリアが52.1万トン（同10.9%）と続いている。

**「CITGO 競売 PDVSA 20 債権団が申し立て準備  
～Gold Reserve の応札は債権団の合意がない～」**

「[ベネズエラ・トゥデイ No.1238](#)」で紹介した通り、CITGO 競売（正確には CITGO の100%持株会社である PDV Holdings の競売）の落札者として Gold Reserve の子会社である「Dalinar Energy Corporation」が最有力候補となっている。

しかし、この流れについて、ロイター通信は「PDVSA 20 債の債権団が異議申し立てを行う準備を進めている」と報じた。

PDVSA 20 債は、CITGO の株式50.1%が担保に設定されており、本来であれば CITGO 株をもって投資資金を回収する権利が保障されている。

しかし、現在は OFAC の制裁ライセンスにより、担保権の行使が留められている。

現在、CITGO 競売を通じて債権回収を許可されている企業は15社で、この15社の債権総額は190億ドルに上る。

「Dalinar Energy Corporation」による応札額は74億ドルで、Gold Reserve 社がベネズエラ政府に抱えている債権を含めて11社の債権回収を補填することが可能だが、Dalinar Energy Corporation のオファーには PDVSA 20 債権団の合意が含まれていないという。

米国デラウェア州裁判所は、7月9日まで今回の競売の異議申し立てを受け付けるスケジュールとなっており、実際に PDVSA 20 債の債権団から異議申し立てが出れば、競売は再び混乱することになるだろう。

なお、同競売に関する最終的な決定は8月18日の予定となっている。

**「コロンビア政府 Monómeros 買収の意向ある」**

カラカスにて、デルシー・ロドリゲス石油相（兼副大統領）とコロンビアの Edwin Palma 鉱物エネルギー相が Monómeros（ベネズエラ石油化学公社 Pequiven が株式の100%を保有するコロンビアにある肥料会社）の売却について協議を行った。

協議後、Palma 鉱物エネルギー相は

「両国政府による交渉が成立し、Monómeros が我が国の所有企業になり、成長の大きな原動力になることを願っている」とコメントした。

先だって、Bloomberg は、トランプ政権が Monómeros の制裁ライセンスの停止を検討していると報じていた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1232](#)」）。

Monómeros は、コロンビアの農業用肥料の約28%を担っており、Monómeros の稼働停止はコロンビアにとって大きな痛手になる。

## 「光ファイバー工場の設備をイランから輸入」

ラグアイラ州の経済特区にイラン企業「Centro de Datos Modernos (MDC)」が光ファイバー工場を建設する予定となっている（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1137](#)」）。

ベネズエラ国営放送（VTV）は、この工場で光ファイバーを製造するための原材料がラグアイラ港に到着したと報じた。

また、ラグアイラ州の José Alejandro Terán 知事は、光ファイバー工場の会社名が「Venefibra」になったと発表。国営通信公社「Cantv」と MDC とラグアイラ州が一丸となって、新たな産業の振興に力を入れると説明した。



（写真）VTV

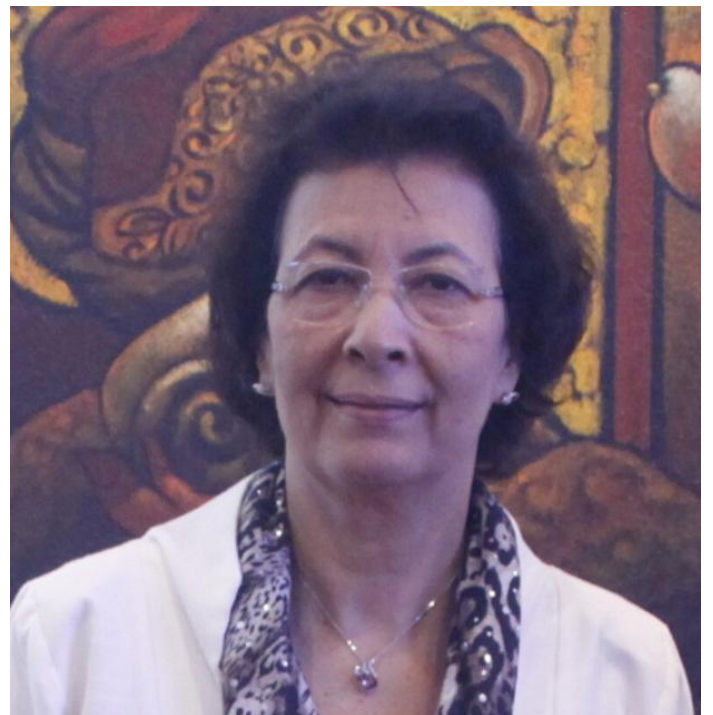
2025年7月8日（火曜）

## 政治

「スリナム新大統領就任 マドゥロ大統領祝辞」

7月8日 マドゥロ政権は、スリナムの Jennifer Geerlings-Simons 新大統領の就任に祝辞を送った。

スリナムは、ベネズエラの隣国ではあるが、公用語がフランス語であり、経済規模が小さいこともあり、ベネズエラとの関係はほとんどない。特筆するような政治問題も抱えておらず、比較的良好な関係を維持している。



## 経 済

### 「ヌエバエスパルタ州 マグネサイト開発推進」

ヌエバエスパルタ州の Marisel Velásquez 知事とアレックス・サアブ国内生産工業相は、ヌエバエスパルタ州でマグネサイト産業を開発する合意を交わした。

また、マグネサイト産業の開発には、ベネズエラ国防省傘下の企業「Caminpeg」も関与するという。

マグネサイトは、天然鉱物の一種で、炭酸マグネシウムを主成分とする天然の鉱物。

耐火材料や化学製品の原料やアクセサリとして利用される。サアブ国内生産工業相によると、マグネサイトはベネズエラ国内において、鉄鋼業、窯業、医薬品製造業などで使用されると言及している。

### 「2024年 養殖エビ6万トンを輸出」

「ベネズエラ水産業団体（SVAcuicultura）」の Eduardo Castillo 代表は、ラジオのインタビュー番組に出演。ベネズエラのエビ養殖業の現状について言及した。

Castillo 代表によると、2024年のベネズエラのエビの輸出量は6万トン。輸出先は主に欧州、アジア、米国。輸出額は約5億ドルだったという。

また、Castillo 代表は「年間生産量を60万トンまで拡大できるポテンシャルがある」と指摘。エビ養殖業を拡大させることで地方の経済を発展させることが出来るとの見解を示した。

ただし、そのためには融資が必要と指摘。マドゥロ政権に対して、投資のための融資を得やすい制度を整えるよう求めた。

### 「玩具市場 子供の増加により堅調」

「ベネズエラ玩具販売商工会（Cavenju）」の Daniela López 代表は、ベネズエラの玩具産業の状況について説明した。

López 代表によると、ベネズエラの玩具市場は拡大傾向にあるという。その理由について、「ベネズエラの出生率は現在も拡大しており、子供が増えているため玩具の販売も増えている」と説明している。

また、玩具の販売がおもちゃ屋だけではなく、スーパーマーケットやドラッグストアなどにも広がっており、玩具を扱う棚が増えていることも販売が増えている理由と分析した。

また、ベネズエラ国内で販売されている玩具の値段について、平均10ドル程度とコメントした。

他、Cavenju は、国内生産工業省と共同でベネズエラ国内での玩具生産を増やそうとしていると説明。

ただし、パナマから正規ルートではない玩具の輸入が続いており、ベネズエラ国内の玩具業界の競争になっていると述べた。

### 「Sambil 店舗入居費5カ月無料キャンペーン」

ショッピングセンターを運営する「Grupo Sambil」のアレハンドロ・コーヘン社長は、カラカス Petare 地区にあるサンビル施設「Sambilito」の店舗入居費を5カ月間無料にするキャンペーンを行うと発表した。

コーヘン代表は「Sambilito には15の店舗が入っているが、食品系の店舗がない」と述べており、食品系の店舗の入居を求めているようだ。



また、5カ月間の入居費無料に加えて、売り上げの一部を支払う「販売コミッション」も5カ月間ゼロにするという。

同キャンペーンに関心のある起業家は Grupo Sambil に連絡をするよう求めている。

## 社 会

### 「チャカオ市 犯罪発生率98%減」

チャカオ市のグスタボ・ドゥケ市長は、Globovision のインタビュー番組に出演。

チャカオ市における治安改善の取り組みの成果を強調。2025年の犯罪発生率は前年比98%減と説明した。

「過去チャカオ市がどのような状況だったか思い出してほしい」「以前は町から叫び声が聞こえた」「携帯電話や自動車の盗難も頻繁に起きていた」「しかし、幸いなことに最近ではそのようなことはほとんど起きていない」と述べた。

ドゥケ市長は犯罪が減少した理由について、街中の防犯カメラの設置、チャカオ市警のパトロール巡回、町の照明を増やすことで暗い道を減らしたなどの取り組みを説明した。

### 「ベネズエラ リモートワーク利用企業が減少」

コンサルタント会社「Mercer Venezuela」の Adelino Pinto 氏は、ベネズエラ国内でリモートワークを継続している企業が減少傾向にあると述べた。

ただし、現在も10社のうち6社は部分的にリモートワークの仕組みを維持しているとした。

また、リモートワークの利用は業種によって偏りがあり、技術職、専門サービス業などで多いという。

逆にリモートワークが少ない業種は、小売業、卸売業など。金融業も最新のシステム導入が増えている影響で、リモートワークが減っているという。

また、部署別でみると最もリモートワークが多いのは「人事部」「技術部」「経理部」。これらの部署は40%のスタッフがリモートワークを利用していると述べた。

### 「ベネズエラ人空手家 南米大会で金メダル獲得」

ベネズエラで生活していると道着を着ている子供を多く見かける。ベネズエラでは空手、柔道など日本発祥の習い事が比較的にポピュラーな習い事になっている。

7月1日～6日にかけてブラジル（ブラジリア）で開催された南米の空手国際大会にて、ベネズエラ人 Katherine Loyo 氏（下写真の女性）が優勝。金メダルを獲得した。

2020年の東京オリンピックでも空手競技にベネズエラ人選手アントニオ・ディアス氏、アンドレス・マデラ氏が出場していた。



（写真）Globovision

以上